

いたいたい。

議長。只今の実行方法について異議はありませぬか。(異議なしの聲あり。)では議長から指命します。藤田君、柿崎君、青藤(老)兄。藤田君を委員長とする。以上先に出議文の起草をお願ひし、全時に委員長に実行委員はなつていただきます。

山野辺君(京橋)。医師が七人を診断を拒んだのは明かに医師法違反であるから、実行方法の中へ、醫師が不法診断拒絶に對し、林護士によつて警察する旨を附加して貰ひたい。実行は本部協議會に一任すること。

議長。では日程に従ひ、本部提出の運動方針に關する大綱を御説明願ひます。杉浦君。(紙を説明し、プリントを讀み上げる。)

ものを全公産産業に見る。明治の中年多数の独立小工場を以て出発した、戦口全公産産業は同もなく猛烈なる競争を現出し、小資本は即ちして大資本に屈服され、殊に大資本は更に会社組織となり、その競争は一方には小資本の倒壊と、他方には大会社同士の競争、更にトラスト(資本家合同)とシンディーケート(資本家聯合)の組織の発達に連なつて来た。斯うした形勢は近來、不景気時に於て最も著しく、長期の金融の杜絶と市場の不振は小工場を存立を殆んど不可能にし、類々として倒壊しつつある。また此の間に於て、資本家合同の運動も促進され、世界市場に於ける外口資本家の競争と大規模なる労働組合の採取のため、今の政府は多年無産階級の負担による租税による差を来たした人権制限所等の官

関東全公産労働組合 運動方針に關する大綱 十五年度大会

A. 全公産産業の情勢

折々全公産産業は日鉄と石炭口を合言葉とする近代産業の中核であり、資本主義の支柱である。従つて全公産産業は資本家階級の縮小であり、全公産労働者は労働階級の前進である。全公産産業部内に於ける階級闘争の勝敗は、即ち全階級闘争の勝敗を制する。さてこの部内に於ける労働者の情勢如何か。我々の運動方針の確立は、先づこの情勢の正確な認識から出発しなければならぬ。

一、大資本家の情勢

(1) 大産業への資本の集積と小工場への没落 大資本による小資本の併呑は、大資本主義發達の根本原理であるが、その併呑も著しく

管工場を占下け、これを中心に全公産資本家を打つて一丸とした口公産的軍(全公産トラスト)組織を計画し、また所謂造船業保護の名の下に毎台数千圓の補助金を下附する條件を以て、全公産造船業トラストを實現せんとしてゐる。(2) 全公産資本家の労働政策——資本家の攻勢 以上、如き急激なる大資本の制覇期は即ち帝口主義時代の資本没落の一面を語るものであつて、その労働階級及び労働組合に對する政策は徹頭徹尾焦燥なる脅威であり、可成なる資本の攻勢である。労働階級に對して彼等が求むるものは、労働階級の負担による生産費の低下、従つて利潤の増大である。そのために彼等は次の如き手段を用いてゐる。——(1) 賃銀の切下げ、(2) 労働時間の変更と苛酷なる肉体的操縦による